

平成24年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	3. 職員厚生事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	2. 人事管理費	担当所属	総務課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独		22,360	△1,014	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	684	21,346
本年度当初査定額	678	21,151

財源内訳	諸収入					その他特財	一般財源
本年度当初要求額	684					0	20,662
本年度当初査定額	684					△6	20,473

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 職員の福利厚生に関する事業全般を実施している。 その主なものは、職員の健康管理、被服の貸与、千葉県市町村共済組合との連絡、佐倉市職員共済会に関する業務である。</p>	<p>(事業の目的) 職員の健康管理を主とした安全衛生をはじめ、千葉県市町村職員共済会、佐倉市職員共済会を通じた福利厚生事業を実施することで職員の健康保持、元気回復を図り、職務能力を向上させることを目的としている。</p>	<p>(事業の効果) 職員の健康診断により、疾病の早期発見と治療ができる。職員が自分自身の健康状態をチェックできる。 その他福利厚生事業の実施により、職員の職務能力の向上が図られる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ストレス社会といわれる中、福利厚生事業の役割が大きくなっていく一方、当該経費への公費投入が議論されている。適切な福利厚生事業の実施のために、適宜、事業の見直しを進める必要がある。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 福利厚生事業の内容の充実及び見直しを継続的に図っている。</p>	<p>(見積りに関する特記事項) 健康診断受診率の向上。被服の貸与者数の予測が難しいこと。社会情勢や職員のニーズの変化に伴い、福利厚生事業の見直しが必要であること。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	960	960	0
08	120	120	0
09	217	130	87
11	2,044	2,214	△170
12	13	16	△3
13	10,105	10,162	△57
19	7,692	8,758	△1,066

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	20	05	04	01	10	01	職員健康診断助成金	516	516	609	△93
	20	05	04	01	50	04	代用審査手数料	6	0	0	0
	20	05	04	01	50	18	職員健康診断負担金	162	162	159	3
差引一般財源								20,662	20,473	21,592	△1,119